

肝臓移植希望者（レシピエント）選択基準の変更について

○現行の選択基準について

肝臓レシピエント選択基準における優先順位は、医学的緊急性、ABO 式血液型、年齢加点（18 歳未満レシピエント加算）の 3 項目により点数付けされている。

医学的緊急性は、日本肝臓学会、日本移植学会、日本肝移植研究会からなる脳死肝移植適応評価委員会により審査され、疾患別、血液検査結果、画像検査結果等を踏まえた「レシピエント適応基準」に基づき、5 段階で分類して点数付けがなされている。（参考資料 1、参考資料 2、参考資料 3 - 1）

医学的緊急性	
予測余命 1 ヶ月以内	10 点
予測余命 1 ヶ月～3 ヶ月以内	8 点
予測余命 3 ヶ月～6 ヶ月以内	6 点
予測余命 6 ヶ月～1 年以内	3 点
予測余命 1 年を超える者	1 点

ABO 式血液型*	
ABO 式血液型が一致	1.5 点
ABO 式血液型が適合	1.0 点

（*選択時に 2 歳（24 ヶ月）未満かつ医学的緊急度 10 点のレシピエントは、血液型を問わず 1.5 点加点する。）

年齢加点	
臓器提供者（ドナー）18 歳未満の場合	18 歳未満レシピエントへ 1 点加点

（合計点数が同じ場合は待機日数の長いレシピエントを優先する。）

○変更のための経緯

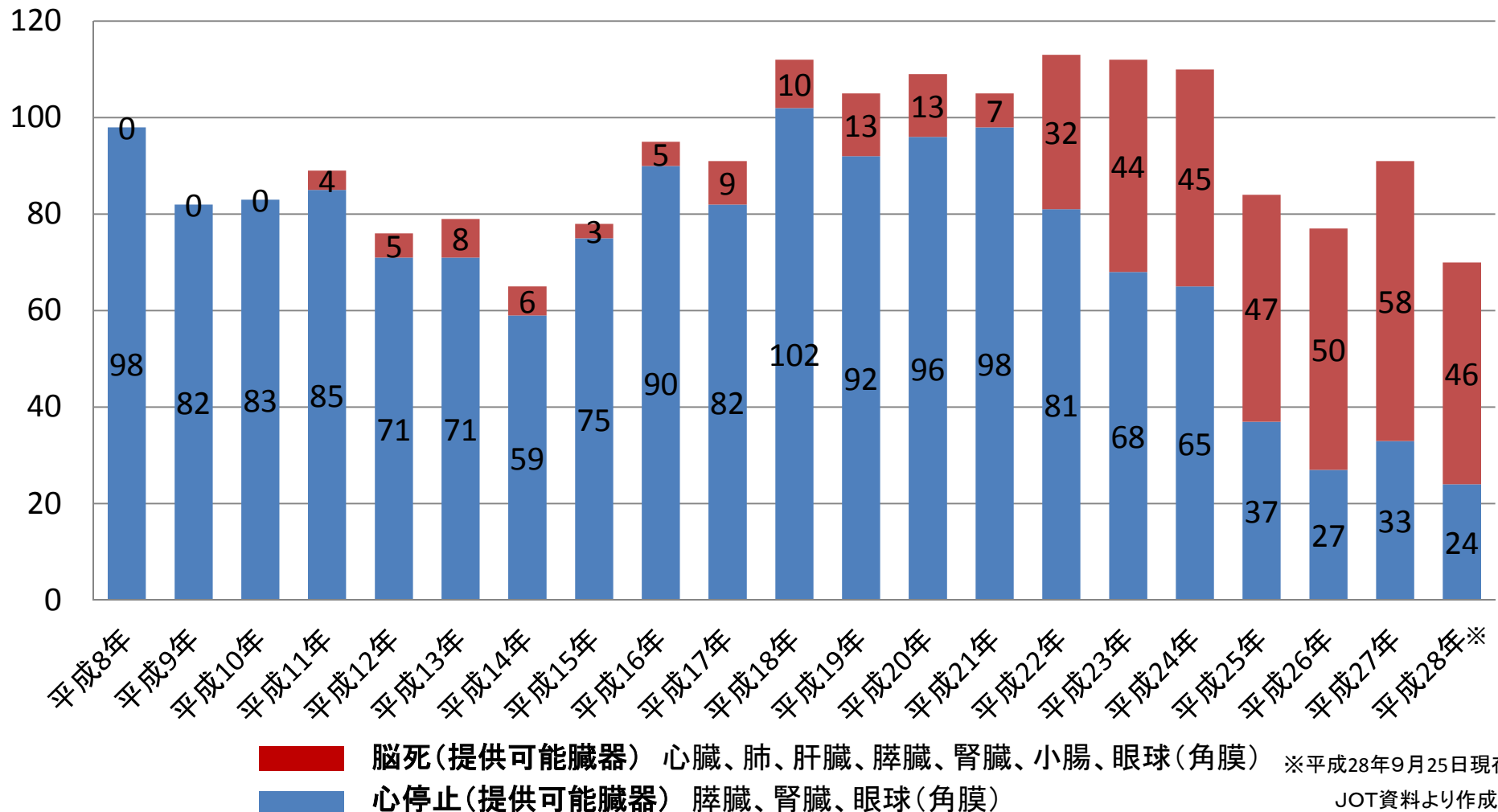
平成 28 年 7 月、3 学会からなる脳死肝移植適応評価委員会、日本肝臓学会肝移植委員会にて「レシピエント適応基準」の「医学的緊急性」に関して、疾患・病態に基づいた適正な医学的緊急性への変更を行った方が良いとの合意がなされた。このため、その合意された内容を「レシピエント選択基準」に反映するよう提案がなされたことから、今回、肝臓作業班にてレシピエント選択基準の「医学的緊急性」について検討する。また、医学的緊急性の点数付けを変更することに伴い、ABO 式血液型や 18 歳未満ドナーの場合の取扱の変更が必要となると考えられる。（参考資料 3 - 1、3 - 2）

○今回の作業班にて検討する項目

1. 医学的緊急性「予測余命」の細分化について
2. ABO 式血液型の選択順位について
3. 18 歳未満レシピエントの取扱について

臓器提供の件数の推移(年別)

平成9年10月(法施行)～平成28年9月25日までの脳死下臓器提供事例 405例
 平成22年の改正臓器移植法施行後の脳死下臓器提供事例 319例
 うち・本人意思が不明で家族同意のみで臓器提供に至った事例・・・ 237例
 ・15歳未満の臓器提供事例・・・ 12例



<肝臓>

2016.8.31現在

移植希望者数 **362** 名

【血液型】

A	127
B	88
O	118
AB	29
計	362

【性別】

男	213
女	149
計	362

【年代】

0-9歳	4
10-19歳	17
20-29歳	25
30-39歳	48
40-49歳	85
50-59歳	114
60-69歳	67
70歳-	2
計	362

15歳未満	9
-------	---

【原疾患】

劇症肝炎	4
遅発性肝不全	0
先天性肝・胆道疾患	19
先天性代謝疾患	25
Budd-Chiari症候群	6
原発性胆汁性肝硬変	28
二次性胆汁うっ滞症	7
原発性硬化性胆管炎	37
代償性・非代償性肝硬変 ※	189
肝移植後グラフト機能不全	16
その他	31
計	362

※ O型ウイルス性肝硬変・B型ウイルス性肝硬変・アルコール性肝硬変・肝癌は代償性・非代償性肝硬変に含まれることになりました。

【医学的緊急度】

予測余命が1ヶ月以内	4
予測余命が1ヶ月～3ヶ月	12
予測余命が3ヶ月～6ヶ月	240
予測余命が6ヶ月～1年	98
予測余命が1年以上	8
計	362

【待機期間】

1年未満	95
1年以上2年未満	54
2年以上3年未満	53
3年以上4年未満	36
4年以上5年未満	36
5年以上	88
計	362